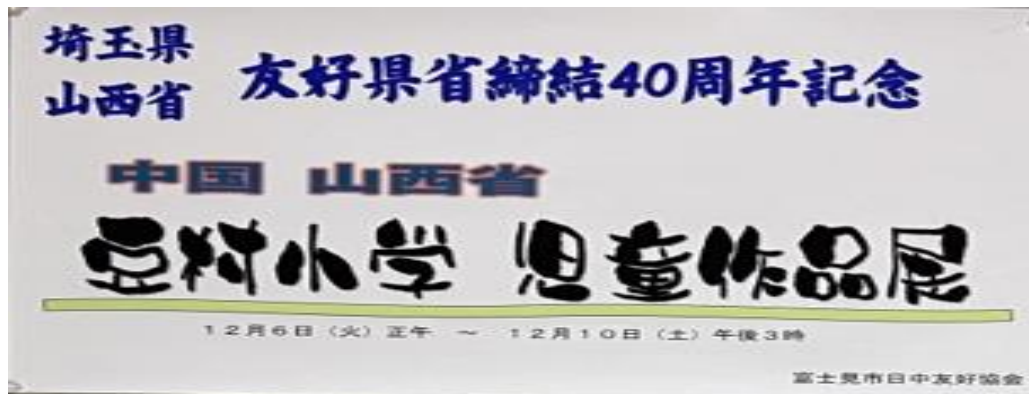


山西省人民対外友好協会のホームページで 富士見市日中の事業を紹介



富士見市日中友好協会は山西省上陽村に1999年に建設した富士見・上陽希望小学校と交流を続けてきました。また翌2000年からは、富士見市内の小学生もその交流に加わっています。残念なことに2021年8月で上陽小学校は閉校となっていました。また、山西省人民対外友好協会、富士見市教育委員会・ふじみ野小学校のサポートのもと豆村小学校と作品交流を継続することとなり、2022年、新たな交流がスタートしました。この年は埼玉県と山西省が友好県省の締結をした1982年10月27日からちょうど40年の節目の年でした。そこで新たな交流が始まったことと合わせて市民の皆さんにお知らせするため、12月6日から10日までの短期間ではありましたが、富士見市立中央図書館において「友好県省締結40周年記念 豆村小学児童作品展」を開催し、図書館利用者をはじめ大勢の方々にご覧いただきました。

作品展終了後の12月27日、山西省人民対外友好協会に対して2023年の富士見市での作品展の概要と写真、見学者の感想文の一部をお知らせしました。対友協からは「実に素晴らしい作品展で、非常に感動した。このような素晴らしい交流活動をもっと宣伝しないと、富士見市日中友好協会の皆様の情熱に申し訳ない。」とのお言葉をいただき、作品展の概要を対友協公式ホームページに掲載したことを伝えていただきました。



http://wsb.shanxi.gov.cn/ywdt/wsyw/202303/t20230320_8187210.shtml

市長、教育長、市議会議長にもこのことを報告し、富士見市の小学生との交流を山西省が重要視していることを伝えました。

富士見市日中友好協会
副会長 紫関伸一